



新月中だより

文責：教頭 紺野 知子

学校教育目標：共生社会を主体的に生きて幸せを広めて歩む人間を育成する



新年度スタートからおよそ一月



先日はご多用のところ、授業参観・父母教師会総会・学年懇談会にご出席いただき、ありがとうございました。

令和8年度が始まってからおよそ一月が経過しようとしています。1年生は、教科担任制の授業、委員会活動など、中学校の生活に少しでも早く慣れようと頑張っている様子が見られます。また、2・3年生は先輩として、自分たちが中心となり、よりよい新月中学校をつくり、充実した学校生活を送ろうという意欲が感じられる生活ぶりです。「よしやるぞ!」という気持ちで生活してきた分、心身に疲れが見え始める頃かと思います。特に、新しい環境となった1年生は、なおさらのこと。お子さんの様子はいかがでしょうか。学校とご家庭とで、お子さんの様子を観察するとともに、夜は早めに就寝する等の声掛けをしていければと思います。よろしく願いいたします。

さて、4月の出来事の写真をいくつか載せましたので、ご覧ください。

始業式



学年代表の抱負発表

入学式



1年生代表による「誓いのこと

対面式



1年生に委員会活動を説明

情報モラル教室



耳を傾けしっかり話を聞く姿

参観日



2年生学級活動「学級目標」決

部活動集会



美術部の部集会の様子

～ 部活動顧問の変更について（お知らせ）～



4月21日（火）に、2・3年生の部活動継続願と1年生の入部届が揃い、今年度の部活動の活動人数が確定しました。バスケットボール部は、所属が0名となったことから、「活動休止」となります。

これに伴い、部活動顧問を次のとおり運用してまいります。

◇鈴木教諭：バスケットボール部顧問 → 中総体まで卓球部副顧問（引率の関係）、その後、サッカー一部副顧問。

◇鈴木教諭及び上長根教諭：顧問不在の部活動に入り、安全に活動ができるよう支援・見守りを行う。

★先日、マチコミメールにてお知らせした「クマ対応マニュアル」に一部変更がありましたので、あらためてお知らせいたします。ご確認いただきますようお願いいたします。

気仙沼市立新月中学校 クマ対応マニュアル

気仙沼市立新月中学校

1. クマとの遭遇の予防(未然防止)

生徒	<input type="checkbox"/> 徒歩で登下校する場合には、可能な限り単独行動を避けて登下校する。 <input type="checkbox"/> 音で知らせる。 ・クマ鈴、笛、空のペットボトルなどを携帯し、人の存在を知らせる。 <input type="checkbox"/> 危険な時間帯・場所の回避 ・クマの活動が活発な早朝や夕方の行動は特に注意する。 ・藪や沢沿いなど、クマが潜みやすい場所には近づかない。
学校	<input type="checkbox"/> クマの誘引物を除去 ・ゴミ集積所には鍵をかけフタを閉めるなど、適切に管理する。 ・敷地内の実のなる木を適切に管理し、必要に応じて伐採する。 <input type="checkbox"/> 見通しの確保 ・校舎周辺の雑草を刈り払い、見通しを良くしてクマの隠れ場所をなくす。

2. クマが出没した際の緊急対応

- (1) 学校付近に出没した場合 ※学校敷地内や生徒が通う通学路を含む。
- (2) 学校からは離れているが、人的な被害が発生し、その発生場所と河川等(クマの移動想定ルート)でつながっている場合。
- (3) 校外での活動場所に出没した場合。
 →該当場所での活動は原則中止。人命を最優先に考慮して判断する。

	教職員の対応	生徒の対応
登下校時	<input type="checkbox"/> 職員間の情報共有・対応協議 ・登下校時刻の変更や臨時休業措置の判断 <input type="checkbox"/> 関係機関への連絡 ※3. 連絡フロー参照 (気仙沼警察署生活安全課・近隣の学校・施設・市教育委員会等) <input type="checkbox"/> 通学時の安全確保 ・警察(交番)へのパトロールの依頼 <input type="checkbox"/> 保護者及び生徒への連絡(マチコミメール) ・出没情報の正確な伝達(目撃した場所や、クマの頭数、大きさ等) ・登下校時の具体的な注意事項を伝達(複数で行動、音を出すなど) ・必要に応じて引き渡しや付き添い、見守り等の依頼	【目撃情報がある場合(出現の可能性のある段階)】 登校前に目撃情報があった場合は、自宅に待機する。 1人で行動せず、川沿い・裏道は避け、人通りの多い通学路を複数人で通る。 見通しの悪い場所では、大きめの声で話しながら歩く。(存在を知らせるため) 【クマを見かけた場合】 絶対に近づかない。／走って逃げない。 クマとの距離を保ちながら、ゆっくり後退し、その場から静かに離れる。 建物・家・店などに避難し、大人へ連絡を頼む。 安全確保後、学校または110番へ通報する。 【クマに遭遇し、逃げ場が近くにない場合】 カバンや傘を広げて、自分を大きく見せる 低い声でゆっくり話しながら、後退し、それでもクマが追いかけてくる場合には、防御姿勢をとる。 絶対に背中を見せて走らない。 持ち物を投げつけない。(刺激になるため)
在校時	<input type="checkbox"/> 職員間の情報共有・対応協議 ・授業時間の短縮や部活動等放課後活動の切り上げ <input type="checkbox"/> 児童生徒等の安全確保 ・児童生徒の所在確認 ・屋内退避 ・校舎一階の施錠(必要に応じて窓も施錠) ・屋外での活動制限(体育、休み時間、部活動等) <input type="checkbox"/> 関係機関への連絡 ※3. 連絡フロー参照	【学校周辺でクマが出現(敷地外)】 校舎内に待機する。／出入り口を施錠する。 屋外での活動(体育・部活動等)を行わない。 【校内でクマが目撃された場合(敷地内侵入)】 教室・職員室など施錠できる部屋へ避難する。 廊下に出ない。／窓を開けて外をのぞかない。 出入り口は全て施錠する。

	(気仙沼警察署生活安全課・近隣の学校・施設・市教育委員会等) □保護者への連絡(緊急メールで連絡)※登下校時と同様の対応	下校後も、不要不急の外出をしない。 ※学校の指示に従って、下校または保護者に引き渡しをする。
継続対応	□職員間の情報共有・対応協議 □臨時休業等の場合は家庭学習やオンライン授業等を行う。 □保護者及び生徒への連絡(緊急メール) ・最新情報の更新 ・翌日の登校方法 ・休日等屋外での過ごし方の指導 □学校での環境整備と誘引物除去(ゴミ管理、校内外の点検、草刈りなど) ※安全が確保されるまで上記の対応を継続する。 すぐ大人に伝えることを基本として、反復指導する	クマを見ても近づかない。 撮影しない。／追いかけない。 食べ物の放置はクマの誘因になるためやめる。 「走らない」「大声で叫ばない」など、遭遇時のNG行動の継続。 万が一遭遇しても、落ち着き、ゆっくり後退し、安全な場所に避難する。

3. 学校園付近にクマが出没した(学校が第1通報者となる)場合の緊急連絡フロー

